

日本管財環境サービスが運転保守管理業務を担当、 東京ガスグループが出資する市原八幡埠頭バイオマス発電所の竣工式開催 ～発電所の運転保守管理業務で電力供給安定化と環境負荷の低減に貢献～

オフィスビルや商業施設等の建物管理運営事業や住宅管理運営事業、不動産ファンドマネジメント事業等を手掛ける日本管財ホールディングス株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：福田 慎太郎、以下「当社」）のグループ会社である株式会社日本管財環境サービス（本社：大阪府大阪市、代表取締役：徳山 良一）は、運転保守管理業務を担当する市原八幡埠頭バイオマス発電所の竣工式が2024年11月8日（金）に開催されたことをお知らせします。



日本管財環境サービスが提供する発電所運転保守管理業務について

日本管財環境サービスはごみ処理における類似施設（発電）の運転保守管理業務を、2007年より累計5つの施設で実施しており、再生可能エネルギーの生産業務のノウハウを蓄積してきました。バイオマス発電は再生可能なエネルギーソースの1つであり、地球温暖化防止や持続可能な社会の実現に向けて重要な役割を果たします。日本管財環境サービスではインフラ施設を中心に施設の維持管理や運転管理を行い、安全・安心・安定した操業につとめています。

日本管財環境サービスホームページURL：<https://www.nkks.co.jp>

市原八幡埠頭バイオマス発電所概要

東京ガスグループが出資するバイオマス発電所の竣工式が2024年11月8日（金）に開催されました。

本発電所は、東京ガスグループが出資するバイオマス発電所であり、木質ペレットを燃料としてバイオマス発電を行います。年間約5.3億kWhの電力を発電する規模で、この発電量は、一般家庭の約17万世帯の年間消費電力量に相当します。本発電所のオペレーションとメンテナンスは、東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社が担い、東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社から業務委託された日本管財環境サービスが運転保守管理業務を担当します。

＜市原八幡埠頭バイオマス発電所の概要＞

事業主体	市原八幡埠頭バイオマス発電合同会社
所在地	千葉県市原市八幡海岸通2番10
発電出力	7.5万kW
燃料	木質ペレット等、約27万トン／年
運転・保守会社	東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社
運転保守管理業務	株式会社日本管財環境サービス
商業運転開始日	2024年9月21日





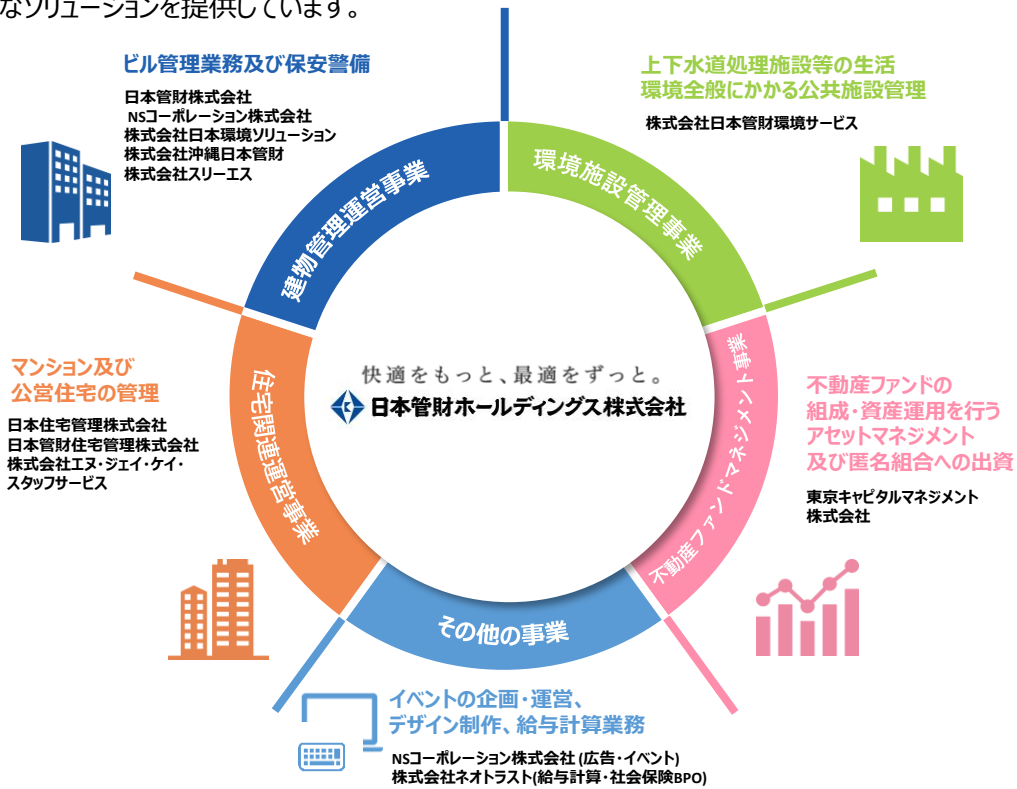
会社概要

日本管財ホールディングスは、オフィスビルや商業施設等の建物管理運営事業や住宅管理運営事業、環境施設管理事業、不動産ファンドマネジメント事業など、建物管理とその周辺事業を手掛ける企業の持株会社として、2023年4月3日に発足しました。

当社は、グループ経営機能に特化し、経営戦略の策定、経営資源の最適化や経営機能強化を図り、グループの更なる成長の実現を目指してまいります。

主なグループ会社

当グループは、不動産の管理・運営・所有に関わる幅広い不動産関連事業を日本全国及び海外で展開しています。高い専門性を有したグループ会社が、オフィスビルや商業施設・ホテル・教育機関・公共施設・マンションといった様々な不動産に対して、最適なソリューションを提供しています。



会社概要

社 名 : 日本管財ホールディングス株式会社
所在地 : 東京都中央区日本橋2丁目1番10号
設 立 : 2023年4月3日
代表者 : 代表取締役社長 福田 慎太郎
資本金 : 3,000百万円
事業内容 : オフィスビル、集合住宅、環境施設等の管理運営事業や不動産ファンドマネジメント事業等を営むグループ会社の経営管理及びこれに附帯又は関連する業務
U R L : <https://www.nkanzaihd.co.jp/>

《 本件に関するお問い合わせ先 / 取材お申し込み先 》
日本管財ホールディングス株式会社 広報・IR・マーケティング室
E-mail : kouhoirm@nkanzaihd.co.jp